

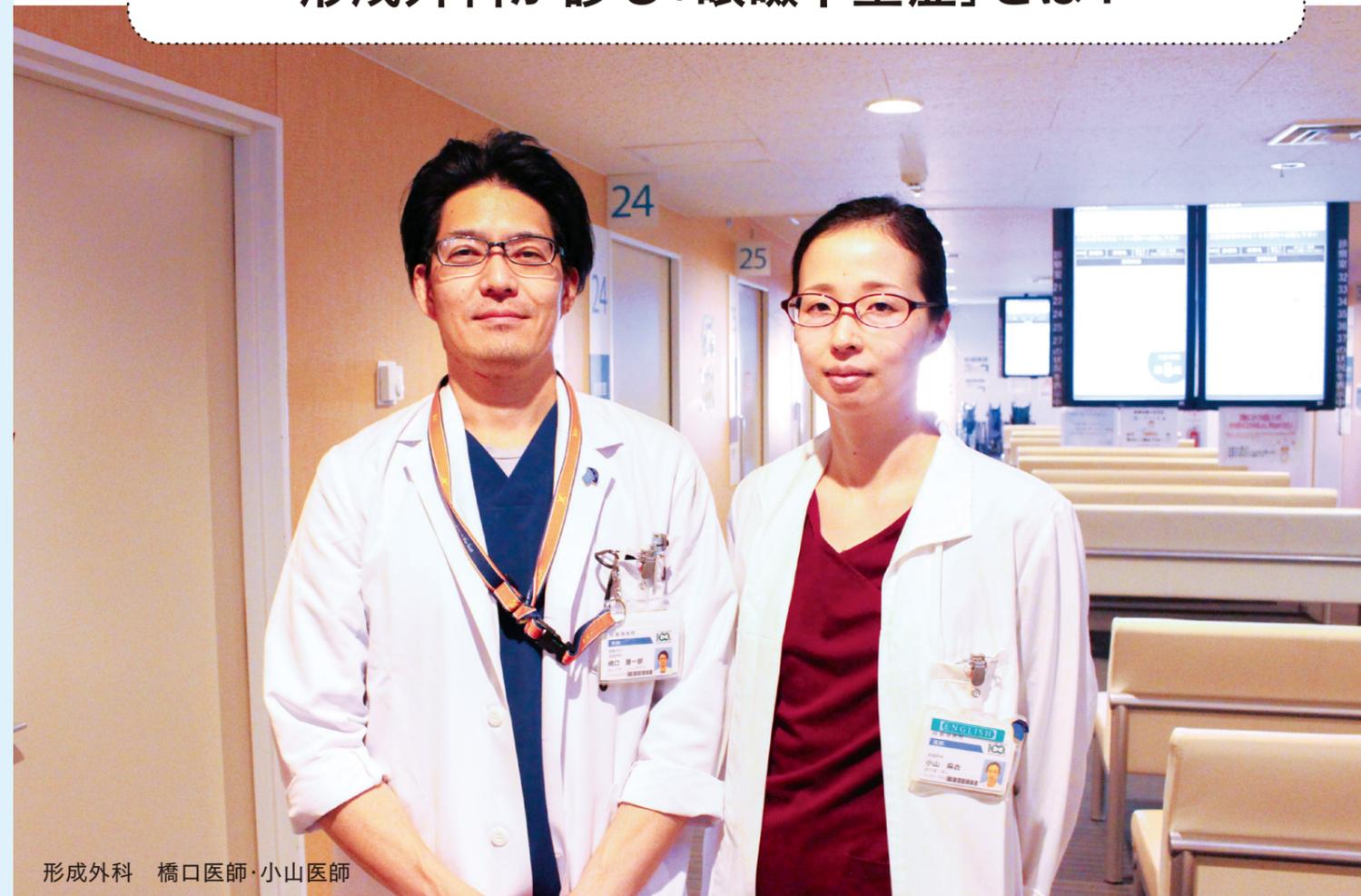
# 飯塚病院だより

2019.12  
no.184

特集

## 形成外科が診る「眼瞼下垂症」とは？

がんけんかすいしょう



形成外科 橋口医師・小山医師

### 当院の形成外科について

形成外科は、身体に生じた組織の異常や変形、欠損などに対して、手術を主として様々な治療を駆使し、機能や形態を改善することによって、患者さんの生活の質(=Quality of Life)の向上を目指す診療科です。

形成外科単独で行う手術もありますが、当院のような総合病院で

は、他の診療科の先生方と連携してチーム医療を行い、患者さんにより良い医療を提供していければと考えています。

筑豊地域のみなさまに安心していただけるよう、安全な医療を提供していきたいと思ひます。

### 主な診療内容

- ◎ 皮膚のできものの手術
- ◎ ケガの縫合、傷跡の修正
- ◎ 顔の骨折手術
- ◎ 小児先天異常手術  
(口唇口蓋裂、指や耳の異常)
- ◎ 悪性腫瘍切除後の再建  
(乳房再建など)
- ◎ 顔面麻痺の再建術
- ◎ 治りにくい傷の治療  
など

飯塚病院だより

no.184

2019年(令和元年)12月10日 編集・発行 飯塚病院広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

## 01 医師往来

はじめまして！ 2019年10月～11月に入職した医師です。



産婦人科 小児科 総合診療科 後期研修医  
 李理華 三浦真理子 村上奈央  
 どうぞよろしくお願ひ致します。 どうぞよろしくお願ひ致します。 地域医療に貢献できるよう日々精進して参ります。

おつかれさまでした！ 2019年10月～11月に退職した医師です。

小児科 津村直弥

## 02 外来受付時間 変更のお知らせ

2020年2月3日より、外来受付時間が変更となります。ご理解・ご協力をよろしくお願ひします。

【変更前】8:00～11:30



【変更後】8:00～11:00

※眼科・泌尿器科・消化器内科は  
8:00～10:30

## 03 年末年始の外来休診について

2019年12月28日(土)～2020年1月5日(日)までの期間、外来が休診となります。緊急時は救命救急センターをご利用ください。

日	月	火	水	木	金	土
22 ×	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○	28 ×
29 ×	30 ×	31 ×	1/1 ×	2 ×	3 ×	4 ×
5 ×	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 ×

○ 通常診療、× 休診日

## 04 飯塚病院のイベント一覧

2020年 1月10日(金) 14:00～15:40	第39回 がんコミュ(^^) - 治験 ～よりよいがん治療薬を目指して～	がん患者さんとそのご家族が対象 無料 事前予約が必要
2020年 1月28日(火) 13:30～15:30	第53回 筑豊地域医療サポーター養成講座 - その症状、眼瞼下垂症かも？ - 「災害」について考えよう	無料 どなたでも参加可能 初回のみ事前予約が必要
2020年 1月30日(木) 10:00～12:00	ふれあいサロン - 皮ふについて	無料 どなたでも参加可能

～詳細は、各イベントのチラシをご覧ください～



# 形成外科が診る「眼瞼下垂症」とは？

「眼瞼下垂症」と聞いてピンとくる方は、あまりいらっしゃらないかもしれません。しかし、「昔より視野が狭くなって、テレビなどが見えにくい」など日常生活の中で不便を感じている方の中には、「視力」の問題ではなく「視野」の問題を抱えている場合があります。今回の特集では、「視野」の問題に関する「眼瞼下垂症」についてご紹介します。

## 眼瞼下垂とは

眼瞼下垂は、まぶたの皮膚やまぶたを持ち上げる筋肉（**腱膜**）がたるんだり緩んだりして、下に下がりが、モノが見えにくくなる疾患です。

眼瞼下垂症には生まれつきのももあり、弱視などの問題で幼少期に手術を行う場合もありますが、多くの患者さんはお年を重ねられるごとに徐々に視野が狭まっていくタイプに当てはまります。

このタイプでは、まぶたを持ち上げる**腱膜**が緩むことにより、まぶたを上げる筋肉の力がうまく伝わらず、まぶたが上がらない状態になります。

視野が狭いこと（特に上や左右が見えにくい）も、もちろん問題となりますし、そのような方の表情は常に眠そうな印象を与えます。眉毛を上げることで視野を広げようとするのでおでこには深いシワが刻まれます。

また、無意識にまぶたをあげようと頑張っている状態が続くため、**高血圧**になったり、**肩こり・頭痛・眼精疲労**につながる方もいらっしゃいます。

その他、眼瞼下垂症の原因として**ハードコンタクトの長期使用**や**重症筋無力症**などの神経筋疾患、

**脳梗塞・糖尿病**からくる**神経麻痺**などが挙げられます。

診断が異なると、もちろん治療法も変わってくるため、まずは正確な診断を受けることが重要です。診断が異なった場合、症状が改善しないばかりか、状態が悪化する可能性もあります。

当院では眼瞼下垂症治療に10年以上携わった医師2名で対応を行っています。眼科の先生方からも多くのご紹介をいただいています。

### 眼瞼下垂によくみられる症状

- ◎眠そうに見える
- ◎物が見えにくい
- ◎肩こり
- ◎頭痛
- ◎疲れやすい
- ◎おでこに深いシワが増えた
- ◎まぶたが重く感じる

など



## 治療方法について

まぶたの余った皮膚を切除する方法や、緩んだ**腱膜**を引き締め固定する方法などがあります。手術自体は局所麻酔で、約1~2時間の手術となります。比較的短時間の手術です。

手術は日帰りでも入院（1泊2日）でもかまいません。手術方法や治療内容、術後のイメージの希望

なども含め、患者さんの症状とご希望に応じて、臨機応変に対応をさせていただきます。気になる方は、ぜひ一度ご相談ください。

※なお、紹介状がなくても形成外科を受診することは可能です。ただし、選定療養費（5,000円・税別）がかかります。予めご了承ください。



手術前の眼



手術後の眼

飯塚病院 形成外科 TEL:0948-29-8949 (平日8:30~11:30)

## 「眼瞼下垂症」公開講座のお知らせ

今回の特集でご紹介した「眼瞼下垂症」について、形成外科部長の橋口晋一郎医師が公開講座で分かりやすく解説します。

お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

【日時】  
2020年1月28日（火）13:30 - 15:30

【場所】  
イイズカコスモスコモン2F 中ホール

初めて参加される方は、飯塚病院 広報課（0948-29-8892・平日9:00 - 17:00）までお申し込みください。

公開講座の詳細については、飯塚病院ホームページに掲載しています

飯塚病院 イベント 検索



この症状、眼瞼下垂症かもしれません。

## 当院形成外科の医師と専門医資格のご紹介



形成外科部長  
橋口 晋一郎

・日本形成外科学会専門医  
・専門分野：  
再建外科（再建・マイクロサージャリー分野指導医）  
頭蓋顔面外科



小山 麻衣

・日本形成外科学会専門医

当院形成外科の特徴や診療実績、外来担当スケジュールに関しては、ホームページで詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。

